

〈ご参考〉



GMO REPORT 2016

---

## 2016年12月期 決算報告

### 目次

連結業績ダイジェスト……………	82
セグメント別の概況……………	83
「強いところはより強く」 金融・決済領域の 拡大に向けた多角展開……………	84

## 連結業績ダイジェスト

### ▼ 業績予想に対する実績

インフラの磐石な利益成長が牽引し通期業績目標を達成

(億円)	2015年 実績	2016年		前期比
		予想	実績	
売上高	1,263	1,350	1,350	+6.9%
営業利益	148.0	165	170.1	+14.9%
経常利益	148.5	165	166.8	+12.3%
最終利益	134.1	70	72.3	△46.1%

### ▼ 配当予想

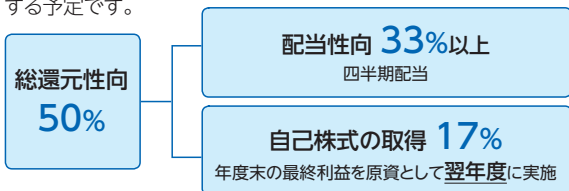
2016年度の期末配当は、「配当性向33%以上」を基本とする方針により、当初の普通配当予想である1株当たり5円に対して1円増配し、同**6円**とさせていただきます。これにより年間配当額は同**21円**、配当性向は33.7%（前期比0.4ポイント上昇）となりました。2017年度の年間配当額は、前述の方針に基づき同**23円**を予定しています。

(円)		1Q	2Q	3Q	4Q	配当総額	
2014年	増配	—	—	—	増配 1	1	17
	普通配	4	4	4	4	16	
2015年	増配	記念配 2	—	増配 2	増配 14*+1	19	38
	普通配	4	5	5	5	19	
2016年	増配	—	—	—	増配 1	1	21
	普通配	5	5	5	5	20	
2017年 (予想)	普通配	5	6	6	6	23	

※GMOクリックホールディングス株式売却による特別利益の増配分

### ▼ 自己株式の取得

当社は「総還元性向50%」を株主還元の目標とし、最終利益の50%から配当総額を引いた金額で自己株式を取得する方針です。これに基づき2017年は、11.8億円、90万株を上限とした自己株式の取得を2017年2月7日から同年12月29日までに実施する予定です。



## セグメント別の概況

### インターネットインフラ事業

売上高  
**654.1** 億円  
 (前期比 +18.1%)

営業利益  
**65.9** 億円  
 (前期比 +53.0%)

#### 通期のポイント

- インフラのストック&トランザクション収益に加え、「shop」の計上が開始し、売上高は過去最高の654.1億円を計上
- 「minne」へのプロモーション投資10億円をこなしつつ営業利益65.9億円を確保、前期比53%増の大幅増益

### インターネット証券事業

売上高  
**273.5** 億円  
 (前期比 △8.2%)

営業利益  
**96.1** 億円  
 (前期比 △0.6%)

#### 通期のポイント

- FX取引高が高水準で推移し、5年連続で取引高世界No.1を達成、シェアは前期末の23.2%から26.3%に上昇
- 下期にかけてのカバーコスト増加により減収ながら、のれん負担減などにより前期並みの営業利益を維持

### インターネット広告・メディア事業

売上高  
**441.8** 億円  
 (前期比 +8.9%)

営業利益  
**12.9** 億円  
 (前期比 +7.5%)

#### 通期のポイント

- 広告・メディアともに好調に推移し、大型受注案件があった前期実績に対して8.9%増の売上成長を持続
- 営業利益は前期比7.5%増の12.9億円を確保、近年進めてきたアドテクシフトにより回復基調

### モバイルエンターテインメント事業

売上高  
**21.3** 億円  
 (前期比 △47.8%)

営業利益  
**△4.9** 億円  
 (前期は △7.5億円)

#### 通期のポイント

- 配信開始から経年した既存タイトルの売上が減少、新規タイトルは主だったリリースがなく、減収トレンドに
- 営業損失は前期の7.5億円から4.9億円に縮小、引き続きコストコントロールを徹底しつつ新規タイトルを準備

## 「強いところはより強く」 金融・決済領域の

インターネット証券事業は、2017年度よりセグメント名称を「インターネット金融事業」に変更し、金融・決済領域の拡大戦略を加速します。仮想通貨事業への参入、インターネット銀行の設立準備、香港・イギリス・タイへの海外進出、VRやビッグデータ解析技術の導入など、将来の飛躍に向けて多角展開を進めていきます。

### 仮想通貨の交換・取引事業 **GMO** Wallet

近年、個人・企業の国際送金や決済取引における仮想通貨の活用が広がっています。今後その普及はさらに進み、市場規模は数年後に1兆円に達すると言われていています。当社グループは、2016年10月に「GMO Wallet株式会社」を設立し、仮想通貨の交換・取引事業への参入準備を続けてきましたが、同年12月に金融庁より仮想通貨に関する内閣府令等が公表されたことを受け、事業参入を正式決定しました。インターネット証券事業やセキュリティ事業で培ってきたノウハウを活かし、安心かつ確実な仮想通貨の取引環境を提供していきます。

### 金融業界初の試み「VR×金融」 トレードアプリの提供開始

仮想空間上のディーリングルームで売買注文が可能な「GMO-FX VRトレード」。金融サービスの可能性を拓げる取り組みとしてこれまでにない取引体験をご体感ください。



# 拡大に向けた展開

## インターネット銀行設立に向け、新たな領域に挑戦

2016年7月、当社グループはあおぞら銀行グループとの資本業務提携を締結し、あおぞら信託銀行とともに設立する次世代型インターネット銀行の共同運営に向けた取り組みを開始しました。設立準備プロジェクトは現在、要件定義から本格開発フェーズに移行し、2018年3月までの開業に向けて着実に進捗しています。

「IT×金融」による新たな金融領域への挑戦として、技術力を活かしたシステム開発・銀証連携サービスを武器に、インターネット銀行No.1を目指します。

## 海外 | 世界18カ国62拠点に展開

2016年12月末時点



### 決済領域(マレーシア)

**MACRO KIOSK**  
Payment Corporation

アジア主要銀行のモバイルバンキングのシステム提供を行い、SMS決済最大手のMACRO KIOSK社と業務資本提携。東南アジアにおける総合決済サービス展開の足がかりとしてシナジーを創出します。

### ネット証券領域(タイ王国)

**GMOクリックHD**  
ホールディングス

株式売買代金がASEAN諸国内でトップクラスの証券市場を有し、今後も金融サービスの需要拡大が見込まれるタイ王国でインターネット金融関連事業を展開します。ライセンス取得後、本年度の秋以降に事業を開始予定です。